

直撃！ 広報インタビュー 実際の下川に移住した人に聞いてみた！

Q 「なぜ下川町に興味を持ち、どうやって問い合わせたのですか？」

A 「そうですね。仕事や家探しも理由が固まっていけない段階で移住の話をしてよいものなのか悩んでいました。」

Q 「移住をするにあたり、はじめは不安だったかと思えます」

A 「そうですね。仕事や家探しも理由が固まっていけない段階で移住の話をしてよいものなのか悩んでいました。」

Q 「移住前も移住後も、気にかけてくれて安心します」

A 「タウンプロモーション推進部って何をやってるのかよく分からないし…」という人も多いのではないのでしょうか。町外でのイベント実施や、企業誘致だけでなく、移住を考えている人のやりとりが、日々行われています。」

Q 「下川のことを好きで暮らしたい」という人は、どんなやりとりを経て下川町へたどり着くのか、移住してきた3人に、下川町へ移住するまでの道のりを聞きました。

Q 「なぜ下川町に興味を持ち、どうやって問い合わせたのですか？」

A 「私も初めは電話をして、その後メールのやり取りをして、フルタイムで働きたいと伝えると「人財バンク」の紹介もしていただきました。移住前に仕事が決まったことでもスムーズで、家探しもという家が空いているか情報を教えてくれて

Q 「移住後、仕事や家探しはどのようにしたのですか？」

A 「テレビでSORRY KOUBOUさんが紹介されていて、こんな暮らしをしてみたいと思ったんです。そこでまずタウンプロモーション推進部に電話したら、担当の方がとても親切で、とりとめもない話を1時間半も聞いてくれました。まだ決まっていなかった段階なのにこんなにも親身になって話を聞いてくれて不安が和らぎました。」

Q 「移住後もタウンプロモーション推進部とのやりとりはありましたか？」

A 「私が孤立化しないように「タノシモカフェ」に誘ってくれたという場があるから来てみないか、と担当の方から声をかけてもらいました。」

Q 「移住後、仕事や家探しはどのようにしたのですか？」

A 「私のやりたい仕事のために、拠点となる場所として一緒に10軒以上の空き家を探してくれました。仕事を考えるうえでの関係づくりとして都市部の来客者の紹介もしてくれましたし、新しい事業プランを考えるための勉強会「森の寺子屋」に参加させてもらったり、事業の助成金の相談をするのに適切な相談場所と人を教えてくれて、とても助かりました。」

年4回の暮らしごとツアー



下川町での暮らしや、どんな仕事があるのかを知るための、お試し移住体験ツアーです。交通費は全員実費ですが、道内はもちろん九州などの遠方からも参加している人も。就業したい人向けと、起業したい人向けに夏、冬1回ずつ実施しています。

タウンプロモーション推進部を通して転入された移住者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
移住者数	3人	11人	31人予定
相談件数	79人	375人	540人予定

最近では、毎年約150人の人が下川町に転入して下川町民になっていますが、平成30年度は、タウンプロモーション推進部を通して15世帯31人（うち3世帯が3月末までに移住予定）となっています。年々、移住相談・移住者数が増えてきています。

タノシモカフェ



毎月1回、地元の人と移住してきた人を交え、それぞれ実費による一品持ち寄り形式の交流会を開催しています。参加者からの要望に合わせた企画も不定期で開催しています。（歴史を知るアイスキャンドル作りやヤマベ釣り等。）

都市圏での下川PRイベント



下川町での暮らしや仕事など、テーマを変えて下川町の魅力を伝えるイベントを年数回開催しています。下川町の認知度が高まってきており、毎回約30人ほどのお客様が集まりました。

人財バンク

すぐに働く。きっと見つかる。



下川町内で、人財を募集している事業者さんのお仕事情報がまとまっている、ウェブサイトです。人財バンクを通して、すでに20人の人が町内の様々な事務所で働いています。（林業、林産業、福祉、農業、商工業等。）

起業塾「シモカワベアーズ」



地域おこし協力隊の制度を活用した起業家誘致。2019年度採用枠は、「2030年における下川町のありたい姿」に応じた7つの項目のいずれかに当てはまる事業を目指す人を募集しています。

